作成（2024 年度）

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	麻原寛之
所属機関名	工学部・電気電子システム学科
職位	准教授
在籍年	9 年

教育の責任

大学教育が担うべき責任は、学生が卒業後に社会で必要とされる能力を養成し、その質を保証することであると考えています。以上に鑑み、担当講義を通じて電気電子情報通信工学分野の専門科目を学び、発展させる上で基礎となる知識・理解の定着を図っています。また、実験科目と卒業研究指導においては、講義と実験の連携を密にし、実務技術者としての素養の養成に努めています。

教育の理念

教育の理念は、学生ひとりひとりの個性を尊重しつつ**能力**を最大限に引き出し、電気電子工学分野の技術者として産業社会のニーズに応えられる人材の育成に努めることです。

教育の方法・方針

教育の理念に沿って、研究室配属前後に分類して教育の方法と方針を以下に示します。

(a) 研究室配属前の学生に対する指導目的と方法

担当講義では、毎講義終了時に講義の感想や授業改善への要望等を記載したアンケートを受講者全員から回収し、これを集計し出欠確認をとっています。集計結果は次回講義に反映させ、電気電子工学の根幹である電気回路の理解度を高め、専門科目を学ぶ上で必要な**論理的思考力**の底上げを図っています。また、実験科目では学生の個性を尊重した個別指導を実践しており、レポート添削等を通じ、**伝達力**を伸ばすことに注力しています。

(b) 研究室配属後の学生に対する指導目的と方法

ゼミ生へ学術的および工学的に価値ある最新の研究テーマを提供するよう心がけています。問題に直面し・答えを導き出し・評価する過程が**問題解決能力**の向上につながると考えています。また、最新の英語参考文献の調査等を通じ、**グローバルな視野からの発想力**を養っています。

教育の成果

担当講義の授業アンケートでは、電気回路への理解が深まったとの回答結果が大多数を占めていることから、受講者の基礎能力の向上に寄与できているようです。引き続き、関連科目間の連携を密にし、論理的思考力の育成に努めます。

卒業研究指導に関しては、毎年、ゼミ生の多くが国内外の会議で研究成果を発表しており、順調に進展しています。専門性を更に高めるべく、研究室内で大学院更には博士課程後期への進学者も多く抱えており、大学院生に対しては基礎・応用・実証支援まで、一貫した指導を行なっています。

今後の目標

講義・実験・卒業研究等を通じて、エネルギー、エレクトロニクス、情報通信分野のものづくりの理論と技術を身につけた技術者の育成に努めます。この裏付けとして、学科独自の資格である「電気主任技術者」「電気通信主任技術者」「陸上・海上特殊無線技士」

などの資格取得を促します。また、学生ひとりひとりの個性を尊重しつつ、社会のニーズに応じた**論理的思考力**、**伝達力**、**問題解決能力**、**グローバルな視野からの発想力**等の社会で必要とされる能力を最大限に伸ばすことを念頭においた指導を行います。
根拠資料
以下の資料を保管しています。 ● 2024 年度電気回路 I および電気回路 III の mylog 授業アンケート結果 ● 2024 年度電気回路 I および電気回路 III の独自アンケート結果（講義回ごとのアンケート結果） ● 2024 年度大学院生研究実績調査結果（3 名分） ● 直近の学生の研究成果発表の受賞成果（2022 年度 2 件、2024 年度 1 件）